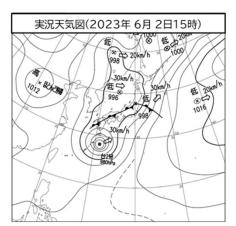
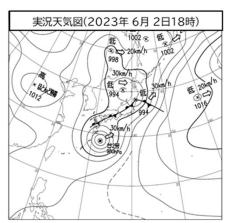
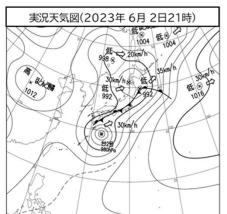
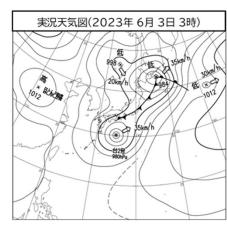
# 台風第2号の影響による 江戸川、中川・綾瀬川、新方川等の 出水状況・被害状況、対応等

令和5年9月25日 関東地方整備局 江戸川河川事務所 埼 玉 県 ○ 大型の台風第2号の影響により、関東地方では3日昼前まで、雷を伴った非常に激しい雨が降り、2日00時 (降り始め)から4日00時までの48時間で、総雨量は、埼玉県越谷地点(国交省 越谷雨量観測所)で322ミ リとなりました。



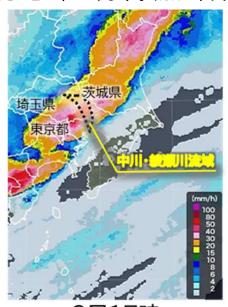




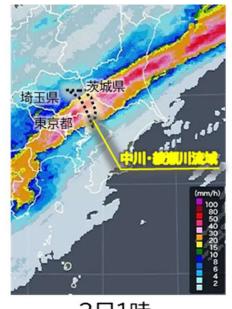


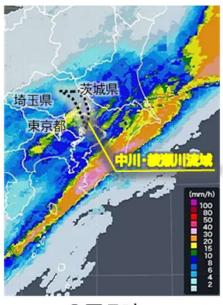
※気象庁HPより

下の画像は雨雲の動きを表しており、台風第2号の通過に伴い、中川・綾瀬川流域で、長時間にわたり、降雨強度の高い雨が降り続いていたことがわかります。(※日本気象協会HPより)



埼玉県 東京都 2日21時





2日17時 2日21

3日1時

3日5時

50

既往最大雨量 今回洪水雨量

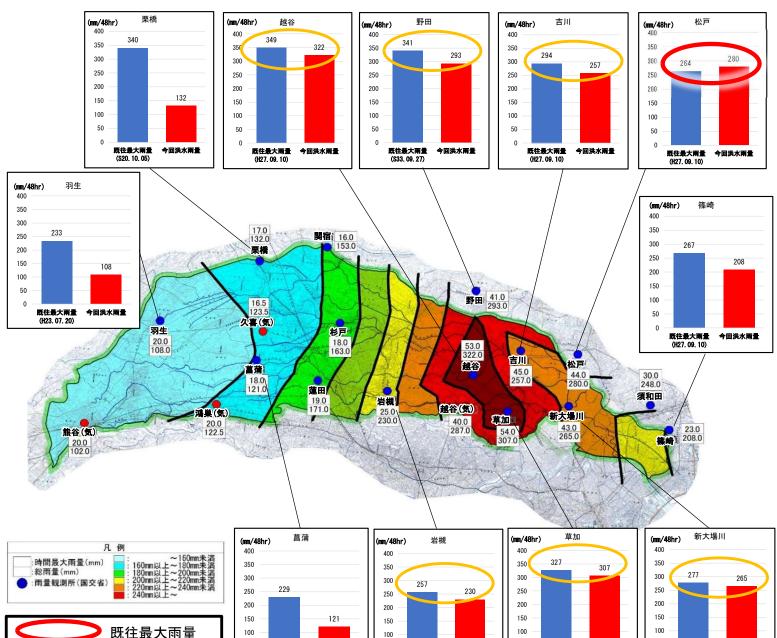
既往最大雨量

今回洪水雨量

既往最大兩量 今回洪水兩量

(H27. 09. 10)

#### ●既往最大雨量と台風第2号に伴う雨量(国土交通省・雨量観測所より)



既往最大雨量に

匹敵する規模

既往最大雨量

(\$61, 08, 05)

今回洪水雨量

- O 左図は、国土交通省の 雨量観測所における降 り始めからの総雨量を もとに、中川・綾瀬川 流域の降雨分布を表し たものです
- 〇 台風第2号に伴う降雨 により、中流域から下 流域を中心に降雨量が 多く、越谷で322.0mm、 草加で307.0mmの累加 雨量を記録し、いずれ も既往最大雨量に匹敵 する規模でした



水防警報基準地点 最高水位表

高砂

谷古宇

大谷口

新田

単位(m)

AP.+3.4

AP.+4.10

YP.+4.20

4.10

4.20

3.50

3.80

AP.+3.50

YP.+3.80

○ 今回の出水により 利根川水系中川では、 吉川水位観測所で 6月3日1時00分に、 氾濫危険水位を超えました 利根川水系綾瀬川では、 谷古宇水位観測所で 6月3日0時40分に 氾濫危険水位を超えました 利根川水系新方川では、 増林水位観測所(県)で 6月3日2時50分に 氾濫危険水位を超えました

- 1				R5.6.3	基 <b>华</b>					
	河川名	観測所名	既往最高水位		水防団待機水位	氾濫注意水位	避難判断水位	氾濫危険水位	計画高水位	
		西関宿	YP.+17.43	2.40	4.50	6.10	8.10	8.90	9.12	
	e e e e	四 闰 闰 日	(S22.09.16)	YP.+10.90	YP.+13.00	YP.+14.60	YP.+16.60	YP.+17.40	YP.+17.62	
		野田松戸	YP.+11.87	3.76	4.60	6.30	8.50	9.10	9.34	
	江广川		(S22.09.16)	YP.+7.26	YP.+8.10	YP.+9.80	YP.+12.00	YP.+12.60	YP.+12.84	
			YP.+6.85	3.89	4.00	5.70			8.13	
			(\$10.09.26)	3.89	YP.+4.00	YP.+5.70			YP.+8.13	
		YP.+4.47	4.31	3.30	3.60	3.70	4.10	4.75		
	фШ	音川	(H27.09.10)	AP.+4.31	AP.+3.30	AP.+3.60	AP.+3.70	AP.+4.10	AP.+4.75	
	꾸川		YP.+3.46	2.67	2.50	2.70			3.41	

AP.+2.50

AP.+2.80

YP.+2.70

2.80

2.70

AP.+2.70

AP.+3.00

YP.+3.20

3.00

3.20

3.10

3.40

AP.+3.10

YP.+3.40

上段:量水標の読み値。 下段:量水標の読み値を測量成果により、YP. 又はAP. に変換した値。

3.91

3.41

AP.+3.91

YP.+3.4

(S44.08.22)

YP.+4.41

(S41.06.29)

(S56.10.23)

YP.+4.23

			R5.6.3 台風第2号	基準水位					
河川名	観測所名	既往最高水位		水防団待機水位	氾濫注意水位	避難判断水位	氾濫危険水位	計画高水位	
新方川	増林(県)		4.54	AP.+3.25	AP.+3.90		AP.+4.02	AP.+4.79	
中川	牛島		5.70	AP.+5.20	AP.+5.85		AP.+6.25	AP.+6.73	
元荒川	三野宮		6.78	AP.+6.15	AP.+6.55		AP.+6.80	AP.+7.58	
綾瀬川	一の橋		4.22	AP.+3.60	AP.+4.05	AP.+4.12	AP.+4.60	AP.+4.73	





綾瀬川

坂川



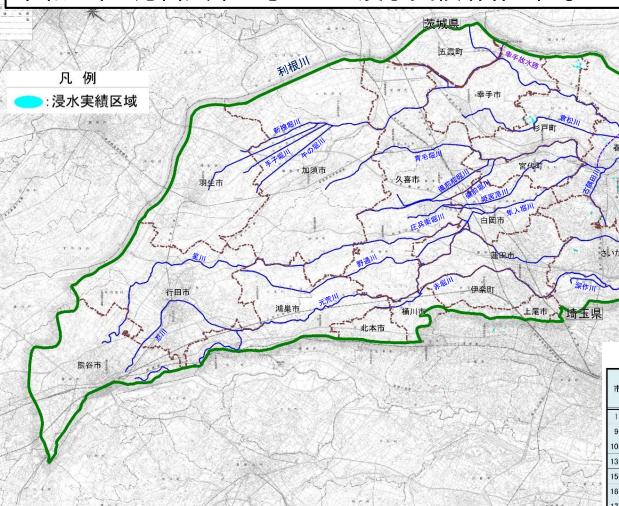


中川 吉川水位観測所(吉川橋下流) 30.6k付近

綾瀬川 谷古宇水位観測所(谷古宇橋上流) 14.4k付近

## 令和5年台風第2号の影響による被災状況





#### 令和5年8月末時点

- ※速報値のため、今後修正が生じる場合があります。
- ※以下の自治体は道路冠水位置を表示 幸手市、杉戸町、蓮田市、上尾市、春日部市、松伏町、吉川市、八潮市

令和5年6月(台風第2号)洪水における中川・綾瀬川流域の浸水被害状況

江戸川

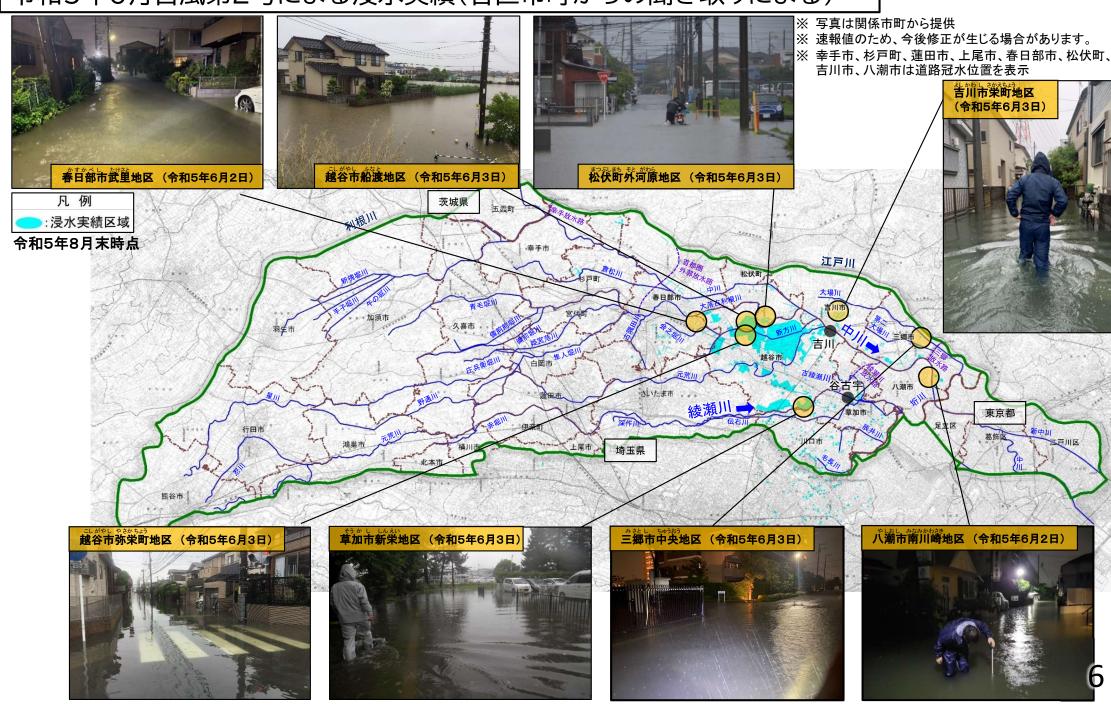
備考	田畑被害		道路被害	住家被害			区町村名	at
Ma - C	冠水	流出·埋没	冠水	合計	床下	床上		110
	ha	ha	箇所		棟		Political Control	
	_	-	2	3 <del></del> 3	-		熊谷市	1
	_	-	1	1-0	-	-	幸手市	9
	_	-	2	1944	_	-	杉戸町	10
			3		-	-	蓮田市	13
	-	-	10	3-08	-		伊奈町	15
8橋梁被災	-	-	5		-	-	上尾市	16
田畑被害の規模不明	1件	-	47	64	58	6	さいたま市	17
	-		38	191	182	9	春日部市	18
	474.4		100	183	132	51	松伏町	19
	111.5	不明	15	3,129	2,529	600	越谷市	20
	-		43	35	10	25	川口市	21
ほかに住家半壊4棟、一部損壊123棟	_	-	170	325	213	112	草加市	22
	-	-	34	72	68	4	吉川市	23
他に住家一部損壊1棟	- [		161	66	57	9	八潮市	24
ほかに住家一部損壊1棟、1橋梁被災	0.2	-	71	11	9	2	三郷市	25
	-		1	·—×	-	-	足立区	26
	586.1	0.0	703	4,076	3,258	818	合計	

東京都

中川

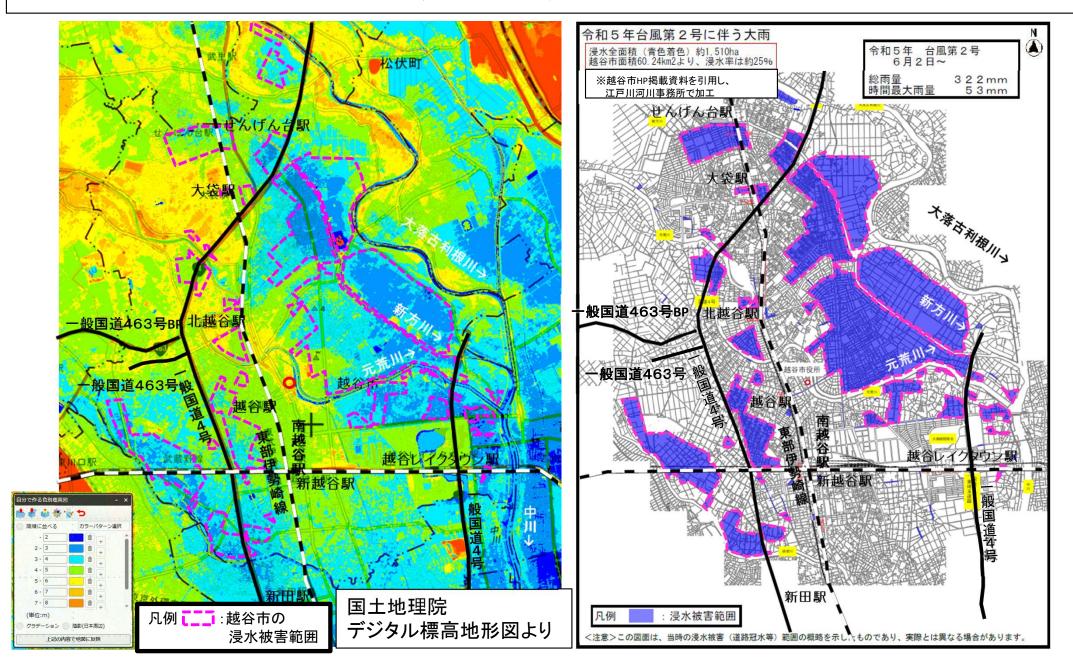
## 令和5年台風第2号の影響による被災状況

## 令和5年6月台風第2号による浸水実績(各区市町からの聞き取りによる)



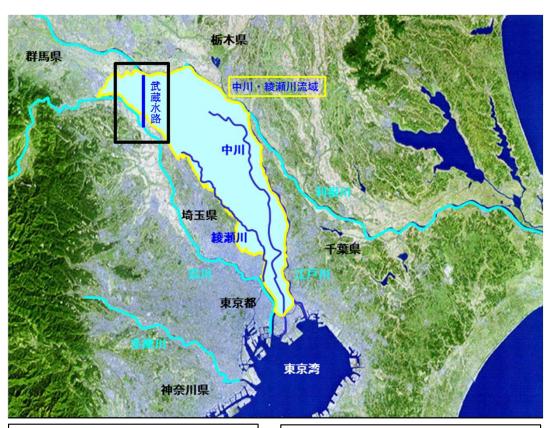
## 浸水被害の傾向

○ 今回の台風第2号の影響に伴う浸水被害において、埼玉県越谷市、草加市、松伏町を中心に広い範囲で浸水被害がありましたが、地形的に低い場所において浸水が発生している傾向にあります。



## 水資源機構による中川・綾瀬川上流域での内水排除

〇 中川・綾瀬川上流域に位置する武蔵水路(水資源機構)において、河川及び周辺地域からの出水を水路内にとりこみ 荒川 へ排水(域外排水)した。これにより中川・綾瀬川下流域の水位上昇や被害の抑制に寄与した。

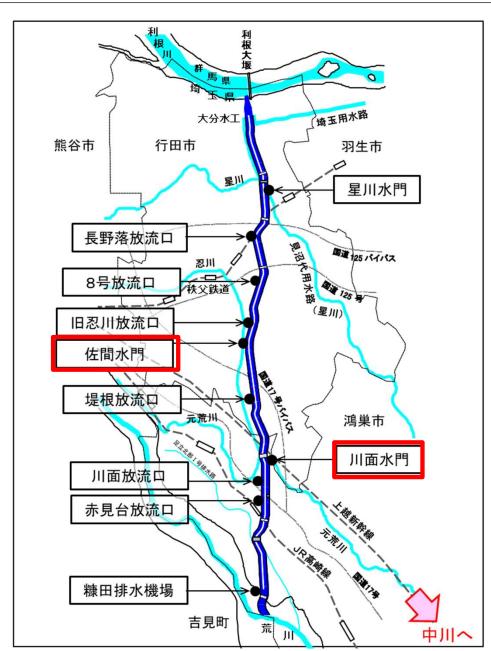




佐間水門地点(令和5年6月2日)



川面水門地点(令和5年6月2日)



令和5年6月2日に日本へ上陸した台風第2号による出水対応時、三郷排水機場(総排水量 200 ㎡/s)の一部ポンプにおいて一時停止状態が発生し、フル稼働できない状況であった。その後、停止した要因の分析及び新たな対応を実施し、その後の運転実績を踏まえ、現在は従来通り正常に運転可能である。

#### 1. 三郷排水機場の概要

三郷排水機場は、中川と江戸川を結ぶ三郷放水路の江戸 川側に位置し、以下の目的を有している機場

- (1)中川上流域の浸水防除
- (2)中川下流部の洪水に対する安全度の向上
- (3)大場川流域の内水排除
- (4) 高潮時の中川流域の水位上昇緩和
- (5)中川の水質浄化
- (6)江戸川の利水の安定化

設置場所:埼玉県三郷市新和地先

完成年:昭和54年3月 1,4,5号ポンプ

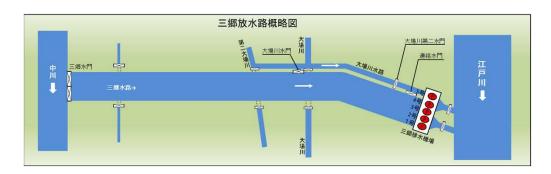
平成6年3月 2号ポンプ

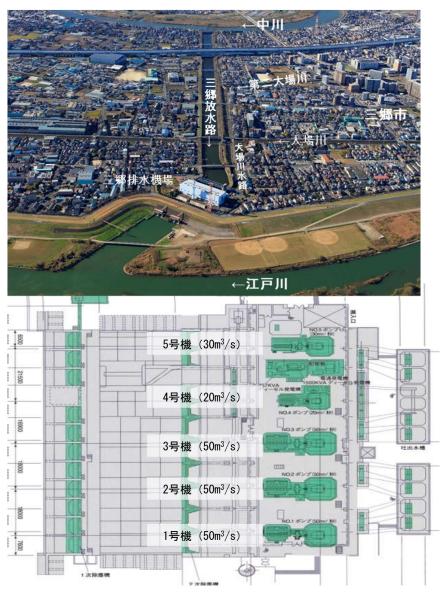
平成8年3月 3号ポンプ

ポンプ:立軸渦巻斜流ポンプ

吐 出 量: 1, 2, 3号 50m<sup>3</sup>/s

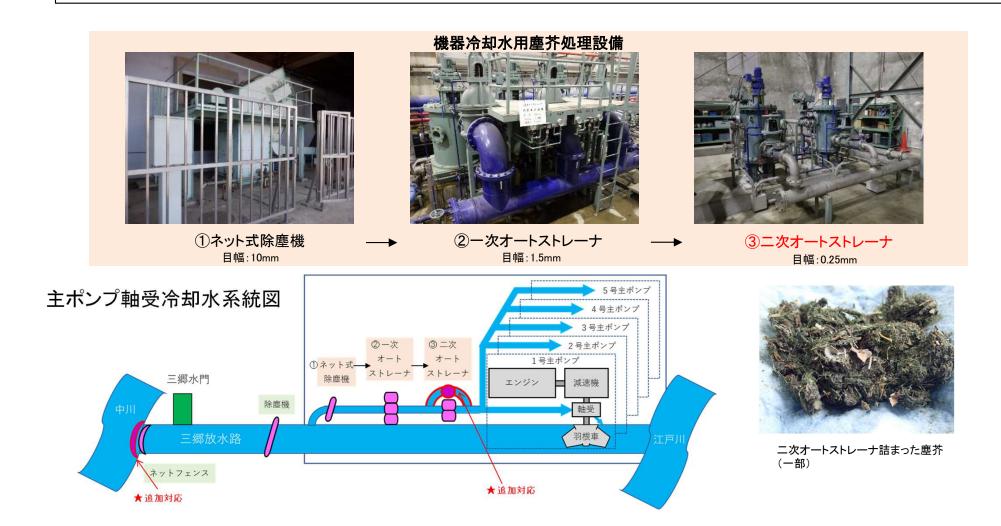
4号 20m³/s 5号 30m³/s





### 2. 台風第2号による出水対応時 一時的に一部ポンプが停止した要因

主ポンプ設備軸受部の冷却水に河川水を使用しており、河川水に含まれる塵芥を除去するために3段階の設備が設置されている。このうち最終の設備(二次オートストレーナ)に多量の塵芥が混入し、フィルター部に塵芥が目詰まりしたことにより冷却水が不足し、安全装置が働き主ポンプが停止した。三郷排水機場においては、台風第2号の出水により操作水位に応じて6月2日17時頃から6月4日9時頃まで約40時間稼働した。そのうち二次オートストレーナの塵芥撤去のため、6月3日の2回、6月4日の1回、各1時間程度(合計3時間程度)ポンプ停止を行った。

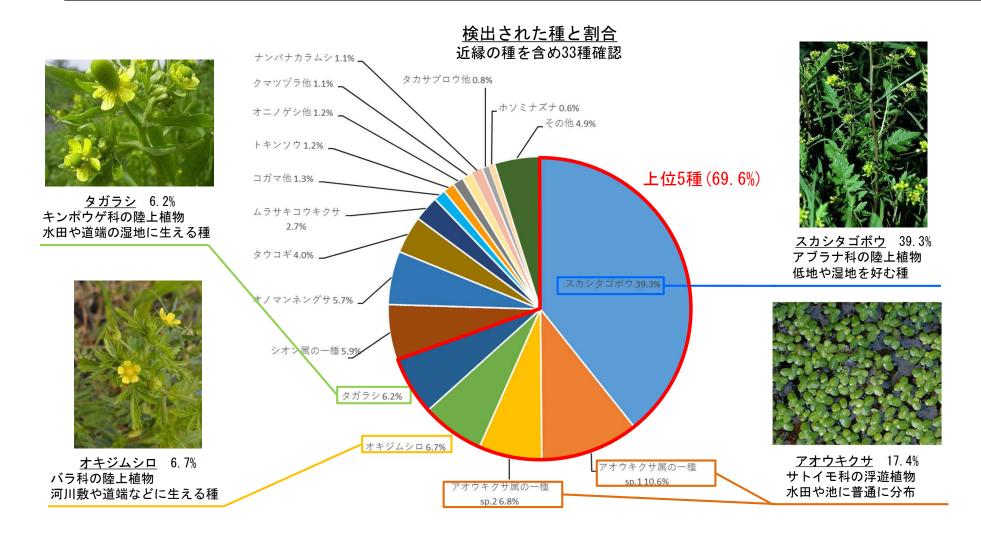


#### 3. 塵芥の分析結果

採取した塵芥(植物片の残渣)からDNA分析を行った結果、33種(陸上24種、抽水2種、浮遊7種)の植物が検出され、上位5種(陸上3種、浮遊2種)で全体の7割(69.6%)を占めており、それらは河川敷の水際や水田等の湿地に生える生態の植物である。

一方、堤防で確認されているシバ、チガヤ、カラシナ、セイバンモロコシ等の種は、検出された33種に含まれていなかった。

これらのことから、塵芥は水際に生息する植物由来のものであることを確認した。



#### 4. 対応

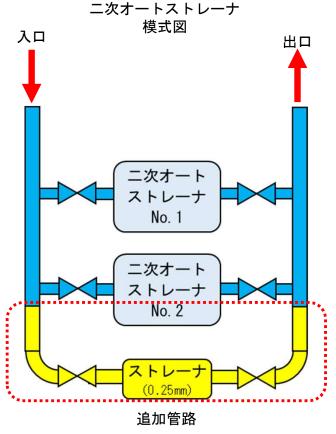
#### ①二次オートストレーナ追加管路設置

台風第2号前の点検で、二次オートストレーナのフィルター部を確認した際には、塵芥は付着していなかった。

これまで2台の二次オートストレーナに塵芥の目詰まりによるポンプ停止した事象はなかったが、今回の事象を受け二次オートストレーナと同じ濾過性能を持つストレーナを有する管路を追加設置し、ストレーナ機能に冗長性を持たせ、今回のような不測の事態への対応を強化した。

今後は、運転時の確認及び運転後のオートストレーナ内部の点検を強化する。





## ②ネットフェンス追加設置

三郷放水路の三郷水門前及び第二大場川の放水路入口部にさらにネットフェンスを追加設置し、放水路内への塵芥混入対策を強化した。







## ③運転実績

①②の対応措置後、3回の運転点検及び8/4~8/9の渇水対応運転を行い、二次オートストレーナに塵芥の目詰まりは発生せず、正常な運転が確認されている。

## 三郷排水機場の一時停止とその対応について

## R5.6洪水(台風第2号)三郷排水機場等の影響について

- 三郷排水機場が一時停止した場合と、三郷排水機場が一時停止しなかった場合について、中川・綾瀬川の水位を比較した。
- 直轄区間全体で平均して中川:8cm程度、綾瀬川:4cm程度の水位差が生じた可能性がある。

